

5月
2022年

JA健康寿命100歳プロジェクト ～薬剤師のワンポイントアドバイス～

「手洗い」していますか？

新型コロナウイルス・オミクロン株の感染が拡大し、「第6波」が押し寄せて来ました。公共の場所には、アルコール消毒が備え付けられ、手指を消毒することがすっかり当たり前の光景となりました。

アルコール消毒では、新型コロナウイルスをやっつけることができます。

しかし、みなさんご存知のノロウイルスなど、やっつけることができないものもあります。でも、心配はいりません。「しっかり手洗い」することで、これらの

ウイルスを洗い流すことができます。

みなさん、「手洗い」しましょう！

薬剤師 矢嶋 幸一
(エスボックス ファーマシー)



ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 検索



高知のみょうがを買って

現金 5,000円 GETしよう!

抽選で 500名様に当たる!

応募期間 令和4年 5/1(日)～8/31(水)
※当日消印有効

日本記念日協会認定
6月13日は「いいみょうがの日」
みょうがを食べよう!

みょうがとちりめんじゃこのごま油あえ
みょうがの豚肉巻きフライ

高知のみょうがを生産する
日本一
そのレシピはこちら

応募方法
みょうがバックに添付された応募シール3枚1口として、必要事項を記入し、ご応募ください(シール裏面参照)

Webで応募
右のQRコードを読み取り、応募シール添付の商品写真(3枚1口)とレシートの画像を添付してご応募ください。

お問合せ
Tel.088-885-3230
みょうが現金5,000円プレゼントキャンペーン事務局 (土・日・祝を除く9:00～17:00)

〒780-0822
高知県高知市はりまや町3-19-15
株式会社ファクトデザイン事務所内

JA高知県 JA土佐くろしお JA高知市共同開催

webで応募

高西地区 から こんにちは
 今月の 気になる人

興津地区より



一に健康二に健康

谷村 佳彦さん (41)
 佐織さん (50)

四万十町興津地区で20アールのミョウガを栽培されている谷村ご夫妻。

今年でミョウガを栽培し始めて20年目になる佳彦さんと佐織さん。19歳の長女を筆頭に中学3年の次女、小学6年の三女と3人の娘さんに囲まれ、賑やかな毎日を送っているそうです。同じミョウガ栽培をしているお兄さんとは、消毒作業などを協力しながら日々農業に励んでいます。5月、6月とだんだん忙しくなりますが「とにかく全員健康で頑張っていきたい。」と意気込んでおられました。

「コロナが終息したら旅行にも行きたいね。」と笑顔で話されているお二人に心からエールを贈ります。



東津野地区より



吉村 虎太郎 邸
 豊田 坂江さん (68)
 成寿さん (31)

津野町芳生野で観光施設「吉村虎太郎邸」を営んでいる豊田坂江さんと成寿さん。親子でこの施設の管理、運営を行っています。現在はガイド施設として地域の観光案内も行っています。

ここ津野山地域は坂本龍馬の土佐藩脱藩と深い歴史のある地域であり、吉村虎太郎は日本の危機的状況をいち早く察知し最初の脱藩者として命を懸けて時代を突き動かした偉大な人物です。その情熱を継いで坂本龍馬ら土佐志士達が脱藩し歴史を築いてきたのです。豊田さんは「この地域に虎太郎という偉大な人物がいたことを観光客をはじめ地元の方たちにも知ってもらい、歴史をつないでいきたい。」と語ってくれました。虎太郎邸では天誅そばやお茶菓子、予約で虎太郎御膳などのお食事も提供しています。また新聞バッグ作り体験等のイベントも開催しており、虎太郎邸の利用を通じて津野山地域の歴史や自然を守り、時代を受け継いでいければ嬉しいと話してくれました。

四万十地区より



自然木工房MOKUMOKU

土居 聡さん (58)

高知市出身の土居聡さんが米奥の空き家を購入しギャラリー工房を開いたのは昨年の夏のことです。祖父や父の影響でもともと木が好きだったと語る土居さんはポリテクカレッジで木工の基礎を学び、脱サラ後、現在は週末に高知市池公園でのオーガニックマーケットや日曜市へ出店しています。その活動の中でファンが増え始め、今では全国から問い合わせがあるほどです。『作品は自分の分身』と表現し、一つ一つにナンバリングを施し、カルテとしてノートに緻密な設計を書き留めています。現在までに300以上の作品が県外を中心に土居さんのもとを巣立っていきました。そして、昨秋開催された第58回高南台地総合美術展覧会工芸の部で特選を受賞されました。

『人生のシフトチェンジ』、穏やかな時間の流れと自然豊かな米奥で、ぬくもりのある自然木の作品を作り続けてください。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域

通学傘を新1年生へ



黒岩範久校長へ傘を贈呈しました。

高西地区信用共済部 共済普及課アドバイザー（L A）は、3月中旬に管内の小学校へ交通安全傘と横断旗を贈りました。地域貢献活動として毎年実施しており、L Aが管内の11校を訪問しました。四万十町立窪川小学校では、小嶋優良L Aが黒岩範久校長へ新入学児童50人分の傘と5本の横断旗を贈呈しました。児童の登下校時の安全を願い、今後も交通安全教室の開催など地域に根差した活動を行ってまいります。

3 四万十地域

水耕セリ「四万十セリ」出荷盛ん



果物やジュースとミキサーにかけても美味しいです。

四万十町管内では3月から水耕セリの出荷が盛んに行われています。セリは、一般的には水田での栽培が主流ですが、管内では水耕で栽培しているため「水耕セリ」と呼ばれており、独特のえぐみが少なくシャキシャキとした食感が特徴です。周年栽培の水耕セリですが、需要の多い12月から1月に出荷最盛期を迎え、暖かくなる3月からは水耕セリの伸びが良くなることで出荷量が多くなります。四万十水耕セリ部会では6人の生産者が、合計92アールのハウスで栽培しており、県内だけでなく東京、名古屋など全国各地へ出荷されます。

6 津野山地域

ユズ部会剪定講習を開催



枝の抑え方などを指導します。

3月25日、津野山ユズ部会は剪定講習会を開催しました。午前中は構原町下西の川のユズ園、午後は東津野力石のユズ園の2部構成で開催しました。津野山地域では毎年専門技術員に協力をいただいで、長く管理、収穫できる園地づくりをレクチャーしています。農家の高齢化もあり、地域では放棄されるユズ園も増えてきています。一度人の手がとなくなると、たちまち樹が立ち上がり収穫しにくい状態になってしまいます。一方、ひと昔前に定植を行った園では成木となり、出荷量が増えてきています。長い目で管理し収穫するユズ栽培では世代をつないでいく管理体制と、持続可能な仕組みづくりが求められています。J Aユズ部会は未来を見据えた栽培への取り組みを呼びかけています。

4 津野山地域

茶園への新植活動



植替えを行うJ A担当者

3月中旬、津野山営農経済センターではJ Aが管理、整備を担っている布施ヶ坂の茶園にて茶の新植を行いました。今年約300本の幼木を新植しました。この茶園は主に消費者交流イベントや学校等の食育授業などで活用しており、実際にこの茶園で収穫した茶葉で釜炒り茶を作ったりと、茶産地としての地域活性化に向けたP R資源として利用しています。もともとは放棄茶園となっていたこの園地も数年かけて徐々に茶園としての形を取り戻してきています。J Aでは引き続き定期的に管理を行い、大切な資源として守っていきたく考えています。



説明を行っています。

1 四万十地域

初の高知県ニラ生産拡大大会

J A高知県営農事業販売本部は11日、四万十農協会館で第1回高知県ニラ生産拡大大会を初めて開催しました。新型コロナウイルスの影響で部会活動、営農指導活動が制限される中、栽培技術向上による農家経営の安定と系統出荷率を上げることで、まとまりある産地づくりを目的としています。講演では、県農業振興部がOP（植物インターネット）クラウド「SAWACH」を利用することで営農関連のニュースが閲覧でき、ハウス内の環境のデータや気象データ、J Aへの出荷データを見ることができ、そのことを説明。農業技術センターは、葉先枯れ要因の解明と対策の研究発表を行いました。農業担い手育成センターは、養成期間と収穫間隔を説明し、しっかりとニラの株づくりをしておかないと収量、品質が落ちてしまうこと、様々な収穫間隔の実証結果を報告しました。J A職員、生産者一丸となってこれからもニラの生産拡大に取り組んでまいります。



挨拶を行う白石組合長

2 津野山地域

茶生産組合総会を開催

3月29日、津野山茶生産組合は令和3年度総会を開催しました。今年度の事業報告や来年度の計画が説明された後、役員改選が行われ、来期についても継続して白石文明さんが組合長、黒川満洋さんが副組合長に就任されました。令和3年度の茶の実績については春の気温上昇や降雨量も多かったことから、平年よりも早めの摘採開始となりました。しかし、遅い時期に凍霜害の影響を受けた園地もありました。販売面においてもコロナ禍の中で厳しい状況が続いており、イベント用の買取販売量も控えめにするなど、P R活動も縮小せざるを得ない状況となりました。今総会には来賓として（株）さんわの担当者にも出席いただき、津野山茶の香りや味の深みなど品質の高さを評価していただきました。間もなく令和4年の新茶収穫も始まるため、次年度の活動や販売計画など入念に協議が行われ、とても充実した総会となりました。次年度はコロナも収まり、イベントなど津野山茶P Rが盛大に開催できることを願って総会を締めくくりました。

四万十・津野山地域より

種苗法改正についてのお知らせ

種苗法とは

品種の育成や種苗流通の適正化を図るための法律です。品種登録制度が柱となっており、品種登録をした者の権利（育成者権）が一定期間保護されています。

近年、優良種苗の海外流出問題などを受け、令和2年12月に法改正されました。農業者や種苗生産・販売者に関するものは主に以下の2点です。

○自家増殖の許諾

令和4年4月1日から農業者が登録品種を自家増殖する場合、育成者権者（権利を有する者）の許諾が必要となります。許諾は団体（JA）などが取りまとめて、一括して受けることもできます。家庭菜園など、登録品種を自家消費のみに利用する場合、許諾は必要ありません。

※自家増殖とは栽培で得られた収穫物の一部を、次作の種苗として用いること。

※得られた収穫物を種苗として第三者に譲渡・販売することはできません。

○登録品種の表示

令和3年4月1日から種苗生産・販売者が登録品種を譲渡・販売する際、登録品種である旨の表示が義務化されました。また「海外持出禁止」や「●●地域のみ栽培可」などの表示が求められるものもあります。農業者が登録品種を購入する際には、きちんと表示内容を確認しましょう。

※種苗法の対象となるのは登録品種のみです。「在来品種」や「登録されたことがない品種」、「登録期間が切れた品種」は種苗法の対象外です。

※登録品種は農水省のホームページ「品種登録データ検索」で確認できます。

<http://www.hinshu2.maff.go.jp>

◎お問い合わせ先：四万十営農経済センター 営農指導課（TEL.0880-22-5179）

津野山営農経済センター 経済課（TEL.0889-62-3501）

◎受付時間：午前8時30分～午後5時（土日祝日除く）



四万十・津野山地域より

農業者のみなさまへ

「事業復活支援金」【国】、 「新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金」【県】 について（お知らせ）

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、事業収入が減少した中小法人・個人事業者を対象とした給付金の制度が下記のとおり開始されています。国、県どちらか一方のみの申請でも、両方とも申請でも可能です。

国・事業復活支援金

対象：2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、
2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月と比較して
50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者

給付額：中小法人等 最大250万円、個人事業者等 最大50万円

県・新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金

対象：申請月（2022年1月～3月のいずれかの月）の売上高が、
比較する月（2019年～2021年の間の申請月と同じ月）と比べて
30%以上減少した事業者

給付額：最大75万円

申請期限 2022年5月31日（火）まで

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

集落の世代交替つくつくし
ケアハウスの爪切りひびく四温かな

市川 和美

眼科へと寒さこらえて乗り継げり
愛し娘の迎え嬉しや春の雨

竹内 春猪

遠国の戦あわれむ余寒かな
終活の友との出合ひ風光る

今橋 孝子

春愁や百論閉ざし籠り居る
括淡と生きるも処世臘月

長谷部 延子

啓蟄に合はすがごとくかんたろう
土手焼やバケツ両手に待ちかまえ

田中 信子

短歌

窪川短歌教室

感染者増えて帰れぬ娘から来るラインの絵文字は泣いてるうさぎ

中内 佐登美

八十路の吾スマホ操作に四苦八苦やっと思信出来てはしやぎぬ

島岡 紀美

スノーボードの少女が着地決めるまで吾の食べる手飲む手おきざり

黒岩 やよえ

おとなりの里は岸焼き 青空をふうわりふわり草の灰ふる

市川 隆子

無花果の花食むという短歌読みてはと調べぬいちじくのはな

市川 浩子

成田山追儺の豆まきは福はうちマスク社会に福よ早よ来よ

文野 見枝子

亡き姉と最後に逢いしスパーで姉の背に似た人を見つける

北村 さちこ

俳句

鶯に負けじとメジロ鳴き競へ

(津野町・弘瀬 秀頼)

菜花摘み夕餉の膳の華やぐを

(津野町・村田 三喜子)

梅花見て梅干し浮び酸味する

(椿原町・松山 松美)

おたよりから

INFORMATION

お知らせ

献茶スタッフ(パート・アルバイト)募集

仕事内容 葬祭会場での準備・接客・掃除等

*未経験者可
*詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ JAメモリアルこうち四万十営業所
(JA葬祭ルミエール四万十)
四万十町榊山町9-7
TEL 0880-22-5900